

トヨタ、新型カローラ スパシオを発売

— リラックス&フレックスをテーマに新パッケージを実現 —

トヨタ自動車(株)は、カローラ スパシオをフルモデルチェンジし、全国のトヨタカローラ店を通じて本日より発売した。

新型車は、新世紀のクルマの価値を追求するNCV (New Century Value) の開発思想のもと、「リラックス&フレックス」を具現化した5+2シーターの新パッケージ、躍動感あるモノフォルムデザイン、軽快な走りを特長とする新トール2BOXである。

その開発では、カローラに由来するクラスを超えた高い品質と、軽量高剛性ボディ・高性能パワートレインによる軽快な走りを実現するとともに、低燃費に寄与するコンパクトサイズでありながら5人がゆったり乗車できる室内空間を基本に、乗員数と荷物量に応じフレキシブルにアレンジできる5+2シーターの新パッケージを実現している。

◇リラックス

- ・取り回しの良いコンパクトな外形サイズに、室内幅、1・2列シート間距離を十分にとり、肩まわり、足元にミディアムハイクラス並みのゆとりある室内空間を確保したほか、優れた乗降性を実現
- ・操作性に優れたインパネシフトの採用や、車庫入れ時などの後退運転を支援する音声ガイド付バックガイドモニターを設定し、リラックスドライブを追求
- ・セカンドシートには前後スライド&リクライニング機構のほか、幅広のアームレストとして使用できるセンターシートバックを採用

◇フレックス

- ・分割可倒のセカンドシートに加え、サードシートは格納式フレキシブルベンチを採用し、用途に応じて広いラゲージスペースや7人乗車を使い分けられる室内空間を実現
- ・ワンタッチで使用できる組み込み式ジュニアシートをセカンドシートに設定

さらに、7人乗り乗用車トップの低燃費(10・15モード走行燃費16.0km/ℓ)を実現し、平成22年燃費基準を先行してクリア(1.5ℓ車)したほか、全車平成12年基準排出ガス25%低減レベルのローエミッションを達成している。



カローラ スパシオ X "G EDITION"
[TA-NZE 121N-FPPNK-G]
〈オプション装着車〉

【車両概要】

1. 「リラックス&フレックス」を具現化した5 + 2シーターの新パッケージ

コンパクトな外形にゆったり乗車できる室内スペースを確保しつつ、フレキシブルにアレンジできるパッケージを実現

(1) 5 + 2シーターの新パッケージ

- ロングホイールベース、ショートオーバーハングに加え、室内幅、1・2列シート間距離を拡大し、コンパクトサイズながら、5人がゆったり乗車できるゆとりのヘッドクリアランス、肩まわりスペース、広いレッグスペースを実現
- 分割可倒のセカンドシートに加え、サードシートは床下格納式として用途に応じて広いラゲージスペースや7人乗車が使い分けられる室内空間を実現
- 視界、乗降性に優れた高めの着座ポイントを設定したほか、ロングホイールベースながら最小回転半径4.9m (1.5ℓ車) を実現し、優れた取り回し性を確保

[車両寸法 等]

全 長 (mm)	4,240 (+ 55)	室内長 (mm)	2,400 (+140)
全 幅 (mm)	1,695 (+ 5)	室内幅 (mm)	1,485 (+ 70)
全 高 (mm)	1,610 (- 10)	1・2列シート間距離 (mm)	920 (+ 65)
ホイールベース (mm)	2,600 (+135)	着座ポイント (mm)	620 (± 0)
最小回転半径 (m)	4.9 [1.5ℓ車]	[地上高]	

() 内は従来型車との比較

(2) 機能性、ユーティリティの追求

- セカンドシートの6 : 4分割可倒やタンブル機構により乗車人数や積載物に応じたフレキシブルな使い方が可能
- また、セカンドシートは150mmの前後スライド、リクライニングのほか、ワンタッチで使用できる組み込み式ジュニアシート (オプション) を採用
- サードシートはクッション部にネット表皮材を採用した薄形として、座り心地を確保したうえで格納性に配慮し、格納時の荷室床高さを580mmと低く抑え、荷室上下寸法を拡大することで、荷物の積載性を向上
- 操作性に優れたインパネシフトに加え、足踏み式パーキングブレーキを採用することで、ウォークスルーが可能

2. モノフォルムシルエットのダイナミックなデザイン

躍動感ある外形デザインを創出するとともに、上質感、スポーティ感を演出

(1) エクステリアデザイン

- 先進的パッケージを活かしながら、フロントピラーの付け根を大きく前出しした円弧状のワンモーションキャビン造形と、ベルトラインを後部でキックアップさせたダイナミックなボディサイド造形を融合し、流麗で躍動感あるモノフォルムシルエットデザインを創出
- シンボルマークを強調する特徴的なフード形状や、グリップタイプのドアハンドルの採用により、車格感を高めつつ、質感の高いデザインを追求
- リヤは、ルーミーでかつ張りのある力強い造形を創造するとともに、赤基調で統一した特徴的な意匠のリヤコンビネーションランプにより引き締った軽快感を表現

(2) インテリアデザイン

- 上下2分割のツートーンのインストルメントパネルを採用し、横への広がり感を演出したほか、センタークラスターは面一感のあるシャープな造形によりクールで近代的な質感を表現
- 上質なシート、トリム表皮材の設定に加え、2種類の木目調パネルの設定により、高級感、スポーティ感を演出

3. 各種装備、高品質

使いやすさに配慮した装備の充実と、1クラス上の高い品質を実現

(1)各種装備、機構

- 夜間、文字盤面を発光させ文字や指針が影として見えるシルエットメーター（X“G EDITION”）や視認性に優れ高級感のあるオプティロンメーター（S AEROTOURER）を設定
- 助手席シートバックのテーブル機能（Xグレード）のほか、セカンドシート中央席シートバックのカップホルダー&トレイ機能を設定
- フロント・リヤドアに設けたボトルホルダー付ドアポケット、インストルメントパネル上面サイドに設けたマルチボックスや、助手席下のアンダートレイなど収納スペースを各所に配置
- インストルメントパネルセンター上方の見やすい位置にオーディオおよびヒーターコントロールパネルを設定したほか、メーターや各操作系の文字の大きさ、字体、色を工夫し運転時の視認性、操作性に配慮
- ITS装備では、車庫入れ時や縦列駐車時などの後退運転を支援する音声ガイド付バックガイドモニターを設定（オプション）
- 花粉などを除去するクリーンエアフィルターを全車に採用したほか、臭いを低減する脱臭フィルターを一部グレードに設定

(2)高品質

- 部品間の隙間や面一性のほか、操作フィーリングにも細かな配慮を施し、ミディアムクラスの上級車に匹敵する高い品質を実現
- 外観においては、フード、グリル、バンパー、ボディ間の隙間を極力小さく均一にし、高いレベルの品質感を実現
- 室内においては、インストルメントパネル、オーディオ、レジスターなどの部品間の隙間を極力小さくし、また面一性を追求したほか、グローブボックスの開閉機構にエアダンパー、回転式アシストグリップにオイルダンパーを採用し、上品な作動フィーリングを提供

4. 軽快で しなやかな走り

エンジンは吸気バルブタイミングを連続可変制御するVVT-i^{*1}付を全車に採用するとともに、軽量高剛性ボディをはじめトランスミッション、サスペンションなど主要コンポーネントの最適化を追求することで、軽快な走りを実現

(1)エンジン

①1.8ℓ VVT-i (BEAMS^{*2} 1ZZ-FE)

- VVT-iや斜めスキッシュ燃焼室、高圧縮比(10.0)などによる燃焼改善および摩擦損失の低減により、低中速での扱いやすさと俊敏な加速を両立。さらにアルミブロックやオイルポンプの小型化などによる軽量、コンパクト化により低燃費にも寄与

②1.5ℓ VVT-i (BEAMS 1NZ-FE)

- VVT-iやオフセットクランクシャフト、ロングポートインテークマニホールドの採用により実用域を中心にトルクフルな走りと低燃費を両立。さらに、アルミブロックや樹脂製インテークマニホールド、ステンレス製エキゾーストマニホールドを採用することで、クラス最軽量となる質量を実現し低燃費にも寄与

*1 VVT-i : Variable Valve Timing-intelligent
(連続可変バルブタイミング機構)

*2 BEAMS : Breakthrough Engine with Advanced Mechanism System
(先進機構を備えた画期的エンジン)

〈エンジン主要諸元〉

型式	排気量 (cc)	駆動	最高出力 (kW/rpm)	最大トルク (N・m/rpm)	10・15モード走行燃費 (km/ℓ)
					オートマチック車
1ZZ-FE	1,794	F F	100 (136PS)/6,000	171 (17.4kg・m)/4,200	14.6
1NZ-FE	1,496	F F	81 (110PS)/6,000	143 (14.6kg・m)/4,200	16.0

(2)トランスミッション

- ・トランスミッションは、高効率なスーパーフロートルクコンバーターを搭載した小型軽量の4速オートマチック Super ECTとし、滑らかで応答性の良い変速を実現

(3)サスペンション、パワーステアリング

- ・フロントサスペンションは、ジオメトリーの最適化を図ったLアームマクファーソンストラット式、リヤは、トーコレクト機能付トーションビームを備えたイータバームサスペンションを採用し、上質な乗り心地と優れた操縦性・走行安定性を実現
- ・電動パワーステアリングは、車速に応じてアシスト特性を滑らかに変化させることで、各車速に呼応する優れた操舵フィーリングを提供 (1.5ℓ車)

5. 新世紀が求める環境・安全性能

排出ガスのクリーン化と低燃費を追求したほか、優れた緊急回避性能を実現する一方、進化した衝突安全ボディGOA^{*1}の採用などアクティブ、パッシブ両面からクラストップレベルの安全性を追求

(1)エコロジーへの配慮

①7人乗り乗用車トップの低燃費とクリーンな排出ガス

- ・全車、HCとNO_xは低排出ガス車認定制度における「平成12年基準排出ガス25%低減レベル」を達成したほか、VV_T-i付エンジンをはじめ、高効率トランスミッション Super ECTや電動パワーステアリングの採用、そして徹底した軽量化により低燃費を追求し、特に1.5ℓ車は10・15モード走行16.0km/ℓの優れた燃費を実現し平成22年燃費基準を先行してクリア

②リサイクルへの対応

- ・リサイクル性に優れた熱可塑性樹脂トヨタスーパーオレフィンポリマー(TSOP^{*2})を前後バンパー、インストルメントパネルなど内外装部品に採用
- ・フロアサイレンサーをはじめ、ダッシュインシュレーターなどにリサイクル材を積極的に採用

③環境に優しい素材の採用

- ・ラジエーター、ヒーターコア、ワイヤーハーネス被覆材などを鉛フリーとし、車両全体で鉛の使用量を2005年末までに1/3以下(1996年比)に低減するという業界自主目標を早期に達成

*1 GOA : Global Outstanding Assessment (世界トップレベルの安全性評価)

*2 TSOP : Toyota Super Olefin Polymer

(2)高い安全性の確保

①アクティブセーフティ

- 優れた配光性能を確保した4灯式ハロゲン大型マルチリフレクターヘッドランプを採用したほか、さらに高い照度を確保したディスチャージヘッドランプ（ロービーム）を設定（S AEROTOURER）
- 一部グレードに撥水ガラスとレインクリアリングドアミラーを採用し、優れた視認性を確保
- ブレーキは、フロントに大径ベンチレーテッドディスクを採用し、優れた制動性能を確保
- EBD*¹（電子制動力配分制御）付ABSと、その効果を高めるブレーキアシストを全車に標準装備
- タイヤの空気圧低下を早期に発見し、走行安定性の確保や燃費悪化抑制に寄与するタイヤ空気圧警報システムを装備（一部グレードを除く）

②パッシブセーフティ

- 40%ラップオフセット前面衝突試験を時速64km、フルラップ前面衝突試験および側面衝突試験を時速55kmで実施し、進化させた衝突安全ボディGOAを採用
- アンダーボディおよびペダルブラケットの取付け部を工夫することで、前面衝突時のブレーキペダルの室内への突出を抑制し、乗員の脚部への衝撃を緩和
- ピラーやルーフサイドレールの内装材に衝撃を吸収するリブなどを内蔵することにより、米国の頭部衝撃緩和基準レベルの性能を確保した構造のインテリアを採用
- 運転席・助手席に、プリテンショナー&フォースリミッター付シートベルト、SRS*²エアバッグ、点滅式シートベルト非着用警告灯を全車に標準装備
- 被追突時に、乗員の首への衝撃を緩和するWIL*³コンセプトを取り入れたシート構造を全車のフロント席に採用
- セカンドシートの左右席にはISO FIX*⁴に対応したチャイルドシート固定専用バーを装備

* 1 EBD : Electronic Brake force Distribution（電子制動力配分制御）

* 2 SRS : Supplemental Restraint System（乗員保護補助装置）

* 3 WIL : Whiplash Injury Lessening（頸部傷害低減）

* 4 ISO FIX : 誤使用防止、車両適合性の向上、取り付け方法の国際的な統一を目的としたISO（国際標準化機構）規格のチャイルドシート固定方式

【ウェルキャブ（メーカー完成特装車）】

(1)ウェルキャブ助手席回転シート仕様（“Aタイプ” “Bタイプ”）

- 高齢者や身障者が乗降しやすい助手席回転シートを全グレードに設定（“Aタイプ” “Bタイプ”）するとともに、ラゲージスペースへの車いすの積み下ろしが容易にできる手動車いす用収納装置（電動式）を“Bタイプ”に標準装備

(2)ウェルキャブ全自動助手席リフトアップシート車（“Aタイプ” “Bタイプ”）

- スイッチ操作により、全自動で助手席シートを回転、車外にスライドダウンさせることで、楽な姿勢での乗降を可能とした助手席リフトアップシートを全グレードに設定。

また、“Bタイプ”には手動車いす用収納装置（電動式）を標準装備

(3)ウェルキャブ フレンドマチック取付用専用車

- 下肢障害者が手だけで運転できるように操舵力を約50%軽減した専用パワーステアリングなどを標準装備したほか、運転補助装置や専用運転席シートの取付けが対応可能な車両として一部グレードに設定

【販売概要】

1. 販 売 店：全国のトヨタカローラ店
2. 月販目標台数：3,500台
3. 店頭発表会：5月26日(土)、27日(日)

【メーカー希望小売価格】

(消費税は含まず、単位：千円)

グレード	駆 動	エンジン	トランスミッション	価 格* ¹	
V	FF	1NZ-FE (1.5ℓ)	Super ECT	1,497	
X				1ZZ-FE (1.8ℓ)	1,537
				1NZ-FE (1.5ℓ)	1,607
“G EDITION”				1ZZ-FE (1.8ℓ)	1,627
S AEROTOURER				1ZZ-FE (1.8ℓ)	1,697
				1,887	

◎：掲載写真（除くオプション）

Super ECT：スーパーインテリジェント4速オートマチック

* 1：北海道は1.5ℓ車が8千円高、1.8ℓ車が7千円高、沖縄は22千円高

【ウェルキャブメーカー希望小売価格】

(消費税は含まず、単位：千円)

	ベースグレード	駆動	エンジン	トランスミッション	価 格* ²	
助手席回転 シート仕様 “Aタイプ” ³	V	FF	1NZ-FE (1.5ℓ)	Super ECT	1,577	
	X				1ZZ-FE (1.8ℓ)	1,617
					1NZ-FE (1.5ℓ)	1,687
	“G EDITION”				1ZZ-FE (1.8ℓ)	1,707
	S AEROTOURER				1ZZ-FE (1.8ℓ)	1,777
助手席リフト アップシート車 “Aタイプ” ⁴	V	FF	1NZ-FE (1.5ℓ)	Super ECT	1,845	
	X				1ZZ-FE (1.8ℓ)	1,885
					1NZ-FE (1.5ℓ)	1,955
	“G EDITION”				1ZZ-FE (1.8ℓ)	1,975
	S AEROTOURER				1ZZ-FE (1.8ℓ)	2,045
フレンド マチック 取付用専用車* ⁵	X	FF	1NZ-FE (1.5ℓ)	Super ECT	1,547	
					1ZZ-FE (1.8ℓ)	1,617
	“G EDITION”				1NZ-FE (1.5ℓ)	1,637
					1ZZ-FE (1.8ℓ)	1,707
	S AEROTOURER				1ZZ-FE (1.8ℓ)	1,897

* 2：北海道は1.5ℓ車が8千円高、1.8ℓ車が7千円高、沖縄は22千円高

* 3：“Bタイプ”は111千円高で、消費税は非課税

* 4：“Bタイプ”は101千円高で、“Aタイプ”とともに消費税は非課税

* 5：フレンドマチック取付用専用車は車両購入時に指定補助装置を取付けた場合のみ、消費税は非課税

以 上